

中目標1：学校生活、日常生活に必要な基礎知識・基礎技能を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 「模擬学校」としてのセンターでの生活に必要な基本的習慣を身に付ける	① <u>日直の仕事</u> がわかり実行できる	◇教室内外の整備（チョーク、その他の備品、掃除）、教師との連絡、昼食関係（食券、配膳、後片づけ）、学級日誌の管理、号令、衛生検査
	② <u>センターの規則</u> と <u>マナー</u> を守って行動できる	◇遅刻欠席早退の届、時間、飲食の禁止、内履き外履きの区別、保健室の利用、身分証の携帯、教材や物品の貸し出しと管理、公共物の利用、衛生（ごみ処理等）、集団下校【低のみ】 ◇トイレの利用、事務室の入退室、毎日の挨拶、返事、お弁当の食べ方
	③ <u>小学生クラスのきまり</u> と <u>同級生間のマナー</u> を守って行動できる【高のみ】	◇禁煙、化粧・装身具の禁止、団体行動、問題発生時の対応（謝る等） ◇物の貸し借り、お礼、謝罪、挨拶
	④ 保護者に <u>連絡</u> ができる（通知の内容に留意し、必要があれば説明ができる【高のみ】）	◇授業参観・三者面談・家庭訪問・社会科見学・写生大会等のお知らせ、連絡帳、弁当等持ち物の準備
	⑤ <u>衛生に関わる基本的生活習慣</u> を身に付ける	◇歯磨き、入浴（洗髪）、手洗い、下着、爪、ハンカチ、ちりがみ
	⑥ 教師の指示をきちんと守ることを通して、 <u>学習活動の前提となる学習態度、学習習慣</u> を身に付ける	◇返事、授業に必要な教材や教具を学校に持ってくる、時間割の見方、予習と復習（テストの準備など）、宿題、机の上に必要なものをそろえる、班作業に協力できる、連絡帳ノートをとる、プリント整理、テストの受け方
2) 日本の小学校生活のイメージを持つ	① 小学校・小学生事情/ <u>日本の小学校生活</u> について知る	◇小学校の一年（三学期制・行事）、小学校の一日（一日の流れ）、小学生の遊び、友達間のマナー（物の貸借り）、学校施設（図書室、体育館、プール、理科室、音楽室、保健室）、年賀状、学校制度【高のみ】
	② 行事/ <u>学校行事</u> を体験する	◇授業参観・三者面談・家庭訪問・社会科見学・写生大会、七夕・クリスマス等季節の行事、レクリエーション活動（フルーツバスケット等）
3) 学校外の生活行動場面に必要な知識と技能を身に付ける※	① <u>交通ルール</u> / <u>交通ルールや注意事項</u> を守って安全な登下校ができる	◇車は左人は右、信号、道路・踏切の横断、自動車の内輪差、危険行為
	② 交通/教師の引率の元、安全に注意して、目的地まで電車やバスを利用して行ける	
	③ 買い物/教師の引率の元、商店の種類を知り、買い物の際のマナーに気をつけて買い物ができる	
	④ 通信/ <u>郵便局や電話利用に必要な知識</u> を身に付け、 <u>利用できる</u>	◇小学校生活、また学校外の生活における郵便や電話の役割（学校との連絡、緊急時）、はがきの出し方、電話機の種類と使い方、電話のマナー（含：間違い電話） ◇はがき出し、家に来た電話の取り継ぎ、実習におけるセンターへの所在地の報告・緊急時の連絡、相手の名前や電話番号の記録【高のみ】
	⑤ 訪問/友達の家を訪問する際の <u>基本的なマナー</u> を身に付ける	◇和室でのマナー（靴の揃え方、お茶の飲み方）、食べ物の断り方、挨拶（こんにちは、いただきます、ご馳走様等）

※低学年の場合中目標1の3) ①②③④は、中目標2の1) ⑥生活科における基礎知識と基礎技能にもなっている

中目標 2 : 学習活動に必要な基礎知識・基礎技能を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 日本の小学校の教科内容についての基礎知識と基礎技能を身に付け、教科の活動とそれに伴う受け答えに親しむ	①技能教科／中国では馴染みのなかった <u>技能教科の活動</u> に親しむ	◇ [音楽] ハ長の五線譜、ソプラノリコーダー【低不要】、ピアノ、日本の歌 [体育] 着替え、整列、ラジオ体操、体力測定、ドッジボール [図工] 水彩絵の具、[家庭科] 弁当調理、裁縫【高のみ】
	②算数／算数に必要な <u>用語</u> や <u>用具の使い方</u> を知るとともに、『文型算数』の文章題に慣れる	◇数字、記号符号、単位、図形名称などの読み方、時計の読み方【低のみ】 ◇コンパス、分度器、定規を用いての作図
	③国語科／原稿用紙や毛筆の使い方を知るとともに、簡単な漢字仮名まじり文を題材とした、 <u>国語科の活動</u> に慣れる	◇音読する、口答による簡単な内容の確認、簡単な読解問題に答える
	④社会／主に <u>日本を中心とした簡単な地理の知識</u> を身に付ける【低不要】	◇平面図、地図記号、地図帳の索引、白地図の作業、日本の地形、県名と特産物、中国と日本の位置
	⑤理科／ <u>理科の活動形態</u> に慣れる【低不要】	◇自然観察、観察記録（温度計）、図表作成、実験（磁石、電池、豆電球）
	⑥生活科／ <u>日本における身近な社会や自然のことがら</u> に関心を持ち、 <u>生活科の活動</u> に慣れ親しむ【低のみ】	◇家族の仕事、家の手伝い、センターの回り（駅、郵便局、商店街） ◇見学、自然観察と記録、簡単な実験（触ってみよう、ならしてみよう等）、絵地図の見方
	⑦回復・維持／中国での学年相当の算数の力を回復または維持する※	
	⑧ <u>文房具</u> の使い方に慣れる	◇はさみ、糊、ホッチキス、カッター、パンチ
	⑨テスト／テストやワークブックの形式や問題の指示に慣れる	
	⑩グループ活動／ <u>学習活動としてのグループ活動</u> に親しむ【低不要】	◇計画に従って責任を果たす、発表する
2) 学習活動に積極的にとりくむために必要な技能を身に付ける	①質問／わからないところを教師や同級生にきくことができる	
	②整理／教師の指示に従ってノートをとったり、プリントを整理したり、単語帳を作ったりすることができ、それを使って自分で復習できる	
	③辞書／ <u>辞書</u> の有用性を知り、 <u>辞書で引ける形であれば</u> わからない言葉を調べることができる【高のみ】	◇日漢辞典、漢字辞典 ◇辞書で引ける形を示される、辞書で引ける形を尋ねる

※⑦について：回復・維持に加えて、編入されるであろう学年の算数の学力に対し隔たりが大きい場合、できれば学力の一部を補充する（例：分数、小数、面積）

備考：【低のみ】低学年のみ学習項目として扱う
【低不要】中高学年のみ学習項目として扱う
【高のみ】高学年のみ学習項目として扱う

中目標3：小学校生活及び学習活動の基礎となるコミュニケーション力を身に付ける

小目標	達成目標	リスト
1) 学校生活や学習活動の基礎となる日本語力を身に付ける	①文字／ <u>平仮名、片仮名、日常よく使われる漢字の読み書き</u> ができる	◇50音図の仕組み、仮名表記の語の音読、漢字仮名混じり文の音読、『小学生の漢字』の読み書き
	②文型表現／ <u>基本的な語彙や表現</u> の意味を知り、 <u>使える</u>	◇『基礎単語表』『基本文型・表現表』（Qレベル） ◇口答による簡単なやりとり、単文・短文の読解と単文・短文の作文（Qレベル）
2) 教師や同級生と良好な関係を作るために、必要なコミュニケーション力を身に付ける	①コミ・マナー／場面に応じて、 <u>適切に</u> コミュニケーションすることができる	◇言いたいことが言えないときの対応（わからないときにわからないまたは教えてと言える）、目上の人に対する対応、返事、相槌、挨拶、お礼、謝罪、断わり、申し出
	②話題／自分に <u>身近な話題</u> でコミュニケーションができるとともに、 <u>中国のこと</u> について日本の子に紹介することができる	◇簡単な自己紹介、家族、故郷、中国での生活、中国の学校、中国の遊び、好きなこと、したいこと、食べ物、中国の行事、中国で楽しかったこと、中国語のこと

※小学校の学齢を超えている児童の場合、進路進学については中学生の中目標2の2) の理念で個別に指導する